

5歳児 星組

園外保育でプラネタリウムを見て感動したきれいな星空を4歳児に知らせたいという思いと、影遊びとが合わさり、七夕のあつまりの日には、3、4歳児に自分たちがつくった、カササギや星空が光る天の川や懐中電灯を使って星を映し出す遊びを一緒に楽しむことができました。その活動の中で、橋をつくりながら、「小さい組さんが危なくないように、つみきを動けへんようにしよ」などと、優しさや、思いやりの気持ちが芽生えていました。また、誕生会では、友達と一緒に言葉を考え、気持ちを合わせて司会をしました。ちょっぴり緊張している姿もありましたが、友達と一緒にという安心感から、子どもたちは自信をもって話していて、とてもたくましく感じられました。2学期以降も、ドキドキしたり、ワクワクしたりする事象に出会い存分に遊ぶ中で、子どもたち自身で考えたり、発見したことを友達と喜んだりしながら関わることを大切にしていきたいと思います。

「みんなで誕生会の司会をしました」



「やまぐみ、もいぐみにも届けに行こう」



アヒルの赤ちゃん
うまれるかな？

アヒルの卵をヒナに孵すためにはどうしたらいいか、みんなで考え、フワフワのタオルで温めたり、孵卵器に入れるといいことを調べたり一生懸命です。



「リンゴを並べて
数えてみよう」

「一筆書きで星を描いたよ」



見て見て
ほしをいっぱい描いたよ

「ロケットになっていくよ」

3・2・1・0！



6月から始まったプール遊び。回数を重ねる度に、ちょっぴり苦手だった水とも仲良しになり、壁を足でしっかりと蹴って、水の中へ飛び出したり、潜ったりと、いろいろなことに挑戦しながら楽しんでいます。

船が通れるようにもっと
深く掘ろう



水に溶けない素材を使って船をつくと、今度は友達と一緒に砂場でその船を浮かべたり、水を流したりすることを楽しんでいました。その中で、水の流れによって船が回ったり、流れたりすることに気づき、その面白さを感じ、もっと遠くまで流そうと、みんなで夢中になって砂を掘り進めています。

「作戦 大成功！」



以前、小さな幼虫に大事なトマトを食べられたことから、みんなでトマトを守る方法として、紙袋をかけることを考え、育てました。その作戦が大成功！虫食いが一つない真っ赤なトマトになりました。